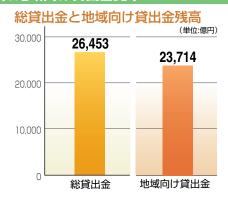
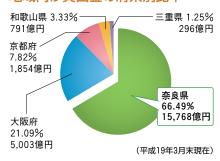
●地域の定義 当行は、奈良県及び隣接する大阪府、京都府、和歌山県、三重県の4府県を地元営業地域として、稠密な店舗網と豊富な情報力に基づく営業力等を背景に、長年にわたり経済活動を支援しています。本誌に記載している「地域」とは、この地元営業地域のことをさします。

総貸出金残高、地域向け貸出金残高、地域向け貸出金比率

平成19年3月末の地域向け貸出金 残高は2兆3,714億円となり、総貸出 金残高の89.64%を占めています。



地域向け貸出金の府県別比率



中小企業向け貸出金の状況

中小企業等向け貸出金は、平成19年3月末で1兆7,876億円となり、 総貸出金に占める割合は、67.57% となっています。

(注)中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人であります。

総貸出金に占める中小企業等向け貸出金の割合



※地域の「中小企業等向け貸出金」130,273先 17,610億円74,26% (平成19年3月末現在)

地域の保証協会融資残高 (単位:億円) 2.408 2,391 2500 2.342 2.000 1,500 1.000 500 0 平成17年 平成18年 平成19年 3月末 3月末 3月末

個人向け貸出金の状況

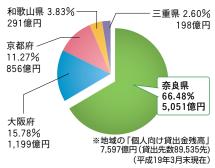
住宅ローンなどの推進に積極的に 取り組んだ結果、個人向け貸出金は、 平成19年3月末で前期比618億 円増加し、7,598億円(貸出先数 89.540先)となりました。

総貸出金に占める割合は28.72% となっています。



※個人向け貸出金残高は「個人ローン残高」を計上しています。

地域の個人向け貸出金の府県別比率



地方公共団体との取引

当行は、奈良県及び37市町村の指定金融機関として、 地方公共団体への融資、公共債等の引受けを通じて、地域 社会のお役に立てるよう努めています。 平成19年3月末の地方公共団体向け貸出金残高は3,162億円で、18年4月から19年3月にかけて引受けた地方債の総額は1,100億円となっています。

業種別貸出金の状況

(平成19年3月末現在)

	(平成19年3月末現在)			
	貸出先数	地域向け貸出先数	貸出金残高	地域向け貸出金残高
製造業	4,740先	4,652先	4,284億円	3,536億円
農業	288	288	82	82
林業	179	179	85	85
漁業	7	5	26	0
鉱業	39	34	198	73
建設業	3,491	3,484	1,253	1,233
電気・ガス・熱供給・水道業	81	80	75	72
情報通信業	118	109	153	77
運輸業	475	466	750	685
卸売・小売業	4,641	4,623	2,775	2,471
各種サービス業	4,827	4,801	2,451	2,020
金融・保険業	98	69	1,722	1,150
不動産業	1,225	1,206	2,206	1,840
地方公共団体	85	85	3,162	3,162
個人その他	110,573	110,557	7,224	7,222
合計	130,867	130,638	26,453	23,714

預金・貸出金の 奈良県内シェア

当行の主要マーケットである 奈良県では、預金、貸出金とも 圧倒的なシェアを誇っています。

